

## ジュニアオリンピックローカルルール

- ① ベンチメンバー  
高校女子含め 15 名とする。1 番には必ず GK をおくこと。
- ② タイマー  
・攻撃時間については 30 秒、コーナースロー・退水などについては 20 秒（従来通り）とする。  
・高校女子 E 区分の 2026 年度以降については現在検討中であり、今後正規のルールとする可能性がある。
- ③ 小学生区分のペナルティースロー  
・4M で行う。コーンなどで簡易的にその場所を示す。  
・B 区分、C 区分、E 区分については 5M で行う。
- ④ 点差がついた場合  
・6 点差がついた時点の開始後から、4 分・5 分計をとめずに試合を行う。点差が縮まっても、時計はとめない。試合終了まで残り時間 30 秒の得点后、試合終了まで残り時間 30 秒以内のペナルティ取得時のみ時計を止める。（たとえば残り 40 秒で得点が入った場合、時計は動き続け、4P の残り 30 秒になったところでストップする。）再開後は時計はとまらない。得点后と協議やケガなど審判の判断によりプレーを中断した場合をのぞき、時計は止まらない。  
・6 点差がついた後は、タイムアウトは取得できない。タイムアウトを取得した場合、間違いであると判断する限りボール所有権は変わらず、プレーを再開する。  
・A 区分は 1 ピリオド、B・C・E 区分は 2 ピリオド終了時以降、10 点差がついた時点で試合を終了する。（1（2）ピリオド終了までは点差に関わらず行うが、終了時点で 10 点差がついている場合、2（3）ピリオドは開始しない）  
※ただし、決勝トーナメントについては適用しない。規定通り試合を行う。
- ⑤ タイムアウト  
・全区分、1 試合 2 回とする。  
・予選において 6 点差がついた時点よりタイムアウトは取得できない。間違った請求があった場合、タイムアウト請求はなかったものとして競技を続行する。
- ⑥ ゴールキーパー  
・13 番に限らず 2 番以降の GK はフィールドプレーヤーとしても出場できる。  
・2 番～15 番の選手は自分の番号の赤帽子を用意していれば、ベンチで帽子を交換し FP でも GK でも出場することができる。  
・1 番以外の選手も 1 番と帽子を変更してゴールキーパーとして出場でき、またフィールドプレーヤーに戻ることも認める。ただし、帽子の交代は、怪我などの場合をのぞき、ピリオド間、およびタイムアウト取得時に限る。将来的にこの適用は廃止し、赤帽子を

用意するよう求めていくことを検討している。

・GKはベンチに必ず1名おくことが義務づけられるので、1番はGKとする。GKが2名以上いる場合、FPとして出場する可能性のあるGKを1番以外とすることがのぞましい。

⑦ ペナルティシュート戦

予選ブロック・予選リーグ

・ジュニアオリンピック全国大会では予選リーグでも同点の場合、PS戦を行い、勝敗を決する。

・各チーム5名をメンバーに選出した後、3人までの結果で決する。3人で決まらない場合は、4人目以降のVゴール方式とする。

決勝トーナメント

・規定通り行う。

⑧ ベンチ交換

夏

・3面展開時でも、ベンチ交換を行う。(予定。会場の都合で変更になる場合がある。)

・C区分中学女子予選リーグ(3ピリオド実施時)のベンチ交換は2ピリオド終了後とする。1ピリオドと2ピリオドでは審判が交代し、2ピリオドと3ピリオドの間はベンチの交換のみとする。

春

・3面展開時(予選トーナメント)までは、ベンチは交代せず、審判が1ピリオドごと交互に交代して試合を行う。

※夏・春とも決勝トーナメント以降はベンチ交換をルール通り行う。

⑨ コールドゲーム

・得失点の対象となる試合がコールドゲームのみの場合、①10点差以上の場合は、得点差、②10点差で並ぶ場合は、コールドゲームとなった時間を総得点よりも優先する。

⑩ メンバー変更について

・大会開始後のメンバー変更・追加は認められない。1番のGKに欠員があった時のみ、メンバーの中で1番のGKを作って試合を開始する。

・予選会後のメンバー変更(大会開始前)については、定められた書式を必ず提出する。

・本選申し込み時までに、メンバー変更届とメールによる届け出がされた場合、プログラムには変更後のメンバーが記載できる。

・本選申し込み終了後のメンバー変更・追加(大会開始前)については以下の通りとなる。

1 メンバーの追加・変更については、予選申し込み時に他チーム、他区分に所属していない選手にかぎる。メンバーに入っていない場合でも、予選申し込み時に他チーム、他区分に所属している選手は追加・変更できない。

2 本選申し込み後の帽子の番号の変更については、ゴールキーパーに関わる番号のみ認める。ただし、この変更は監督者会議終了時までに限る。

例：1番と8番の変更→認める

例：13番と5番の変更→認める

例：2番をあいている13番への変更→認める。ただし、本来本選申し込み時に行うべき変更である。

例：2番と3番の交代→認めない。単純な番号の変更は認めない。

例：1番がけがのため、欠番として、2番をあいている13番にする→認めない。ゴールキーパーは1番へ変更する。ただし、J OではGKとフィールドプレイヤーの交代を認めている。

※GKは13番に限らないが、現状の帽子の用意を考え、上記の変更は認める。

・監督者会議後の変更は原則として招集時、正規のルール、および上記⑥のGKの変更に基づき変更していく。つまり1番と他の番号との変更で対応する。

3 帽子が壊れたなどの理由で帽子の番号を変更することは試合前であってもできない。大会本部では帽子の予備の準備はしない。

#### ⑪ 試合の進行について

・以下の条件で試合するコートを変えることがある。

- 1 片方のコートが空き、もう片方のコートで行う試合が残っている場合
- 2 試合開始予定時間を過ぎている場合
- 3 当初の試合順が入れ替わるような変更は行わない。

※台風や交通の乱れなど不測の事態については、上記の条件に関わらず、試合方式を含め、大きな変更を行う場合がある。